

めぐみの森だより

2025 年 11月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448



先月、運動会を迎えためぐみの森の子どもたち。たくさんの人の前で緊張感もあったと思いますが、今まで積み重ねてきたことが伝わってくる1人ひとりが素敵に輝いた日でした。メダルを首にかけ照れくさそうな、でも綻んだ子どもたちの表情がとても印象に残っています。

前年度に引き続き、0歳児つくし組の担任として子どもたちと過ごしています。クラスの子どもたちと園庭に遊びに行くと、砂や葉っぱの感触を確かめるように触れたり、“あれはなんだろう？何をしているんだろう？”と気になったものや場所に向かって前進したり…。目で見て、肌で触れて、新しいことを吸収しているのだなぁと日々感じています。

つくし組のYさんは3回目の園庭遊びの最中に築山の存在に気が付きました。トト…と築山に向かって歩いていき、そのまま斜面に差し掛かると傾斜で前に進めず。“あれ？”という表情で立ち止まり、こちらに向かって目で訴えていました。私は手のひらと膝を斜面につけてハイハイでの登り方を見せました。それを見て手のひらをつけたと思いきや、斜面をペチペチと小気味よく叩きリズムに乗ることを楽しみ始め、その日は登ることからすっかり興味が移ったようでした。

それから園庭に出るたびにYさんは築山に向かい、少しずつハイハイで登る日々が始まりました。「うわーっ！」と声を上げながら傾斜に挑む姿には「ファイトー発！」と掛け声を掛けたくなる熱気がありました。そんな姿が一週間ほど続いたある日、3分の1ほど一気に登れるようになったのです。洋服のお腹や膝を砂だらけにしながら全力で登る後ろ姿に、すぐに構え見守りながらも胸がいっぱいになりました。そのときふと顔を上げると、築山の頂点かられんげ組のSさんがこちらを見つめていることに気が付きました。去年0歳児クラスで一緒に過ごしたSさんは、ちょうど1年前に築山に挑んでいました。全身で這いながら頂点まで登れるようになった日に「見て！登れた！」と担任同士で呼びかけ歓声をあげたことを鮮明に覚えています。SさんはYさんが地面に降りるところまで見届け、私と目が合うとニコッと微笑みました。Sさんがどういう気持ちでYさんを見ていたのか実際のところは分かりませんが、そのまなざしにあたたかさを感じました。“人知れず見守ってくれている存在がいる”…よく耳にするようなフレーズですが、それを実際に感じるのは意外と難しいことなのかもしれません。ただ、私はこの場面に出会い、Sさんと一緒にYさんの挑戦に立ち合えた時間を忘れることはなく、心の中でずっと大切にしたいなと感じました。

大人が登ると10歩もしないで頂点まで到達する築山も、子どもの視点からは巨大な山に見えるかもしれません。日々の中で、遊びであったり生活であったり、さまざまな初めてのことを経験していくでしょう。思うようにいかないこともあるかもしれませんが、それでも傍にいる友だちや保護者の方々、保育者が“あなたのことを想っていること”を心のどこかで感じ、安心感や活力に繋がるといいな、と思っています。

記：つくし組 古川 繭



【今月のおすすめ紹介】

シールやポストカードの紙製品、文房具が好きなのでかわいい雑貨屋さんにも目がないです。好きなお店は数えきれないのですが、中でも推しているお店を紹介させていただきます！

🌸ペーパーメッセージ吉祥寺店🌸 手作りの可愛さに溢れる紙製品専門店です。ここぞというとき使うメッセージカードやレターセットはここでゲットしています。こじんまりした店内なのでお子さんとゆったりお買い物は難しいかもしれませんが、季節のシールやオーナメントなどご家庭で飾り付けを楽しめる商品がたくさんあります。クリスマスシーズンはモビールやリースがたくさんお店に並ぶので必見です！おすすめのお店がいたら是非教えてください♪

[PAPER MESSAGE](#) [\[ペーパーメッセージ\]](#)